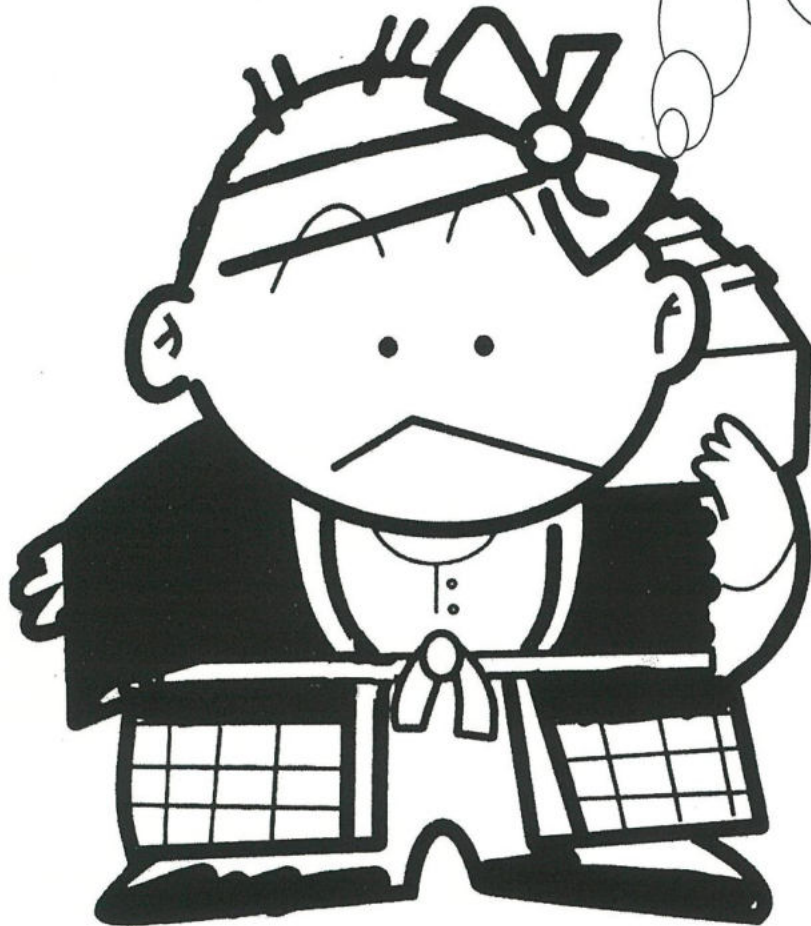


Vo1.002 くらちゃん 大工通信

かゆいとくろに

手がとびく……

「大工」とは、生活の場の改善を旨とし
 より良い物事を研鑽提供する業である。
 あっしにおまかせを……



「家づくり」は「家族づくり」

みなさん!! お元気ですか?

うちも皆、元気です。

* 先日、ある本を読んでいますとこんな言葉が出てきました。

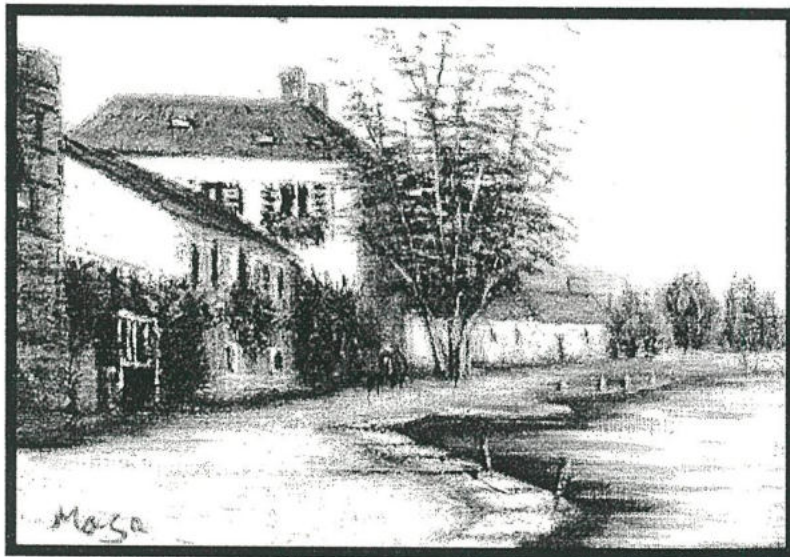
「^{おかめはちもく}傍目八目」、何やら読み方によっては少々笑いの出ることわざと思ひ、早々に「ことわざ辞典」を引きました。すると、

「傍目八目」;《碁をわきから見ている方が、打っている当人より八手先まで見通せるといふ意から》局外から観察していると、物事の是非得失が当事者よりよく分かること。(例)「どちらの言い分が正しいか、傍目八目で見ている君に判断してもらおう」

という意味だそうです。この言葉に出会い、「現代」という一方向的で多量な情報社会でそれに流されぬ為、「傍目八目」的な視点を備えていなければいけない。と思うのは私だけでしょうか。

* 【ご紹介】当社で4月末に竣工致しました、「永野マサさま邸」をご紹介いたします。永野さんは川越にお住まいで当地でも名の知れた風景画を中心とした女流画家でいらっしゃいます。今回の新築に当たり、自宅と作品の展示・趣味の骨董品の常設展示を兼備えたギャラリーを新設され、そしてこの度「ながの生活骨董館」としてオープンされました。永野さま宅は「喜多院」・「中院」からも程近く「川越散策」の新しい観光資源になるのではないのでしょうか。

ひとときを小江戸の世界に移し、また自然あふれる海外の風景の中に身をゆだねホッとすることも良いのではないのでしょうか。



モレー風景

Original Frame & Urethan Panel



(FPの家には
号外号を発行する予定です。)

小江戸川越
ながの生活骨董館
OPEN

長いあいだ楽しみながら集めてきました昔なつかしい品々と絵を御覧いただきたく、展示致しました。近所にお出掛けの折にはお気軽にお立寄り下さるようご案内致します。

【展 示 品】 古陶磁、昔の子供のきもの、箱笥、羽子板、巾着、人形等...

【開館時間】 午前10時～午後3時30分
休館日/毎週月曜日
(祝祭日と重なる場合、翌火曜日)

【入 館 料】 一般400円/小・中学生200円
団体(15名以上) 一般300円
小・中学生150円

【場 所】 〒350-0036 川越市小仙波町5-7-4
永野 マサ TEL.0492-22-6232